

第 23 期 (令和 6 年度)

事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人 炉暖会

令和6年度 社会福祉法人炉暖会 事業報告

特別養護老人ホーム炉暖の郷 かなおか地域包括支援センター

※認知症カフェ毎月開催

※フレイル予防教室=フレイルチェック

	法人運営	施設運営	外部活動	かなおか包括
4月	入職式	お花見外出 職員大会	ヤクルト贈呈式 六施設施設長会議 (さつき園)	つながる会議 地域ケア個別会議 認知症サポーター養成講座 チームオレンジ活動 認知症カフェ
5月	法人監事監査	バルサン害虫駆除 電気設備年次点検		フレイル予防教室 認知症カフェ 地域つながる会議総会 フレイルサポーター養成講座
6月	法人理事会 法人評議員会	生産性向上委員会	沼津市特養連絡協議会 沼津市福祉施設運営協議会	フレイル予防教室 地域ケア個別会議 認知症カフェ 地域研修
7月	居宅介護運営指導	七夕祭り 職員ポーリング大会	東部老協総会 六施設職員研修会 (炉暖の郷)	フレイル予防教室 介護予防教室(寿サロン) 認知症カフェ
8月		慰霊祭	市指定管理者会議	地域ケア会議 認知症カフェ 包括中間評価
9月		施設敬老会 職員定期異動 生産性向上委員会		フレイル予防教室 認知症カフェ アルツハイマーデー啓発活動
10月	機関誌発行	炉暖祭		認知症カフェ フレイル予防教室
11月	水道水立ち入り検査	遠足 防災訓練 インフルエンザ予防接種	県老協防災訓練	フレイル予防教室 地域ケア個別会議 地域ケア会議 認知症カフェ
12月	法人理事会 法人評議員会	クリスマス会(各フロア) 餅つき 大掃除 生産性向上委員会	県病院協会感染指導	フレイル予防教室 フレイルサポーター会議 チームオレンジ活動 認知症カフェ
1月	法人理事会 法人評議員会 機関誌発行	炉暖会 新年会	六施設施設長研修	地域ケア会議 オレンジ活動リーダー会議 包括支援センター監査
2月		豆まき	老協東部支部総会 経営協セミナー	フレイル予防教室 認知症カフェ マラレードづくり 春祭り打ち合わせ
3月	法人理事会 法人評議員会	家族会 職員定期異動 生産性向上委員会	県老協総会	フレイル予防教室 認知症カフェ 春祭り

※ 施設運営活動として、他に各フロアでの季節の行事、毎月のお楽しみ食、お誕生会メニュー等の行事食の提供。
理美容、音楽療法の実施。

職員研修は各所属団体主催のweb研修や『サクラゴ』『お茶の水ケアサービス学院』のフォローアップ研修を実施し、各部門ごと必要な研修に積極的に参加した。7月に六施設合同でハラスメント研修を実施。

※ 今年度は生産性向上に力を入れ、生産性向上委員会を中心にマニュアルの見直し、職場環境の改善などを行った。

令和6年度 事業報告

1) 特別養護老人ホーム 炉暖の郷

【実績】

事業実績は当初予算対比+15,646千円となりました。介護報酬改定に加え年間稼働率が前年度より+1.7%の96.4%だった為、前年度対比は+20,514千円でした。

入退所状況では年間入所者数44名、退所者数41名となっております。退所者を見ると施設でご逝去されたご利用者様が37名、医療機関でご逝去されたご利用者様が4名となっております。医療行為増加傾向は変わりませんが、施設での看取りが大多数を占めました。

男女比率では男性3割、女性7割と近年の比率を維持しています。年齢別ですと最高齢は103歳、最年少は52歳で平均年齢は85.5歳となっております最も多い年代は90歳～94歳でした。

今年度は退所者が多い中でも稼働率を維持することができ予算を上回ることができました。しかし年度終わりは退所者数が入所待機者数を上回り、空床を埋めることができませんでした。

依然として入所申込者数はとても少なく、近隣の施設も同様な状態の為入所者獲得の競争が激しくなっています。その為例年以上に安定した入所希望者の確保とスムーズな入所調整が困難な状態であり課題となっております。

令和6年度 事業報告

ショートステイ 炉暖の郷

【実績】

稼働率 71.3%

利用者数の増減 新規 64 名 利用中止 29 名

平均介護度 1.6

予算達成・未達の原因

- ・年末年始のインフルエンザの蔓延により、利用受付を制限していた影響が大きかった。
- ・ショートステイロングの受け入れを常時行っていたが、予想以上に入所の受け入れが早く、受け入れても定着する期間が短いことが多かった。

【活動】

主な行事等

- ・毎日の日替わりレクリエーション行事の実施
- ・月1回のお楽しみ食の実施

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

- ・月1回のフロア会議にてヒヤリハット等の振り返りを行った。利用者様の介助に関する事の話し合いも行った。
- ・各職員が業務外で自己研鑽のためのネット研修を行った。

令和6年度 事業報告

デイサービスセンター 炉暖の郷

【実績】

稼働率 62.5%

利用者数の増減 新規 20名 利用中止 30名

平均介護度 1.7

予算達成・未達の原因

・予想以上に体調不良による利用中止やショート利用が増えるなどの状況が続いてしまい、利用者の減少が激しかった。

・職員数の減少により行事計画が予定通りに進まないことが多く、変化に富んだサービスが提供できなかった。

【活動】

主な行事等

- ・花見外出
- ・楽器演奏ボランティア
- ・習字の会など

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

- ・毎月1回のデイ会議にて規定の研修やヒヤリハット等の見直しを行った。
- ・年度の途中から介護計画書の確認会議を始めて、利用者様の介助の統一や介助のアイデアを出し合い活発な議論ができた。

令和6年度 事業報告

居宅介護支援事業 炉暖の郷

【実績】

令和6年度はケアマネジャーの複数名の入退職がありました。事業開始の4月時点で常勤専従3人体制の特定事業所加算Ⅲの事業形態とし、6月に1名入職の常勤専従4人体制の特定事業所加算Ⅱへ戻すことが出来ました。さらに9月常勤専従1名入職し5人体制となりましたが11月1名定年退所で結果4人態勢となりました。年間予算は3人特定事業所加算Ⅲの体制を想定したもので13,608千円。実績（請求ベース）は15,056千円で目標達成率111%でした。

【活動】

特定事業所として、地域のケアマネジャーとの事例検討勉強会の実施や、包括支援センターより困難事例ケースを受け入れる態勢作り、介護支援専門員実務研修受入れ事業所体制を保持し活動しました。また個々のケアマネジャーの研修計画を作成し、計画の通り実施。それぞれのスキルアップにも努めました。

令和6年度 事業報告

かなおか地域包括支援センター

【実績】

稼働率	請求総数 3790 件（新規 131 件） 委託： 2240 件（初回加算 93 件 委託連携加算 105 件） 直： 1550 件（新規 38 件）
利用者数の増減	新規相談受付 425 件（昨年度より 65 件増）
平均介護度	要支援 1 または 2 事業対象者のみ

予算達成・未達の原因

- ・介護予防支援事業所請求件数は、年々請求総数が増加している
- ・新規で委託する数は再び増加傾向で、委託の請求件数は増加している
- ・新規の居宅支援事業所ができた事やケアマネ増員の居宅が目立った印象
- ・直で新規を受けた数は昨年より更に増加した
- ・圏域内への有料老人ホームへの軽度者の入所の影響も考えられる
- ・予算見込みを上回る収入とはなったが業務の煩雑さが代償となっている
- ・地域ケア会議・認知症初期支援集中チーム員会議・フレイル（介護予防）促進事業・認知症カフェ・家族介護教室の運営費用は委託費用内で実施できた

【活動】

主な事業

総合相談事業：新規相談受付窓口機能 新規相談 425 件

介護予防ケアマネジメント事業：介護予防ケアマネジメント

フレイル（介護予防）促進事業

フレイルチェック（中央開催・地域開催）

フレイルサポーター支援

フレイルサポーター会議

介護予防事業（派遣型介護予防教室）

家族介護教室（主任ケアマネ研修型）

継続的・包括的ケアマネジメント：地域ケア会議・圏域ケアマネ支援

地域つながる会議 ウェブ会議・研修

権利擁護：虐待・成年後見・消費者被害への対応と予防啓発

認知症関連事業：（認知症地域支援推進員活動）

認知症サポーター養成講座（金岡地区社協福祉部）

チームオレンジかなおか持ち寄り会議

- ・アルツハイマーデーを利用した認知症理解について啓発
方法の検討と実施

かなおかコミュニティ祭りへの出展（千羽鶴・ロバ隊長）

- ・ママレードづくり

認知症カフェ（かなおかふえ） 月1回

認知症の正しい理解の啓発のため3月のかなおかふえを拡大し、地域事業所や駄菓子屋等とコラボして春祭りを開催

認知症初期支援集中チーム 月1回

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

- ・所内会議の実施

困難事例 ケースカンファレンス

事業計画の半期ごとの評価

予定業務の内容・進行の確認と役割分担

- ・圏域に向けたウェブ研修

- ・所内研修

災害時の動きについて

ハラスメント対応について

おひとり様の時代をどう支えるか（伝達研修）

引きこもり（8050）世帯への対応と連携